

参加者へのご案内

1. 参加受付について

◆ 事前参加登録がお済みの方へ

＜8月10日までに参加登録費のお支払いを完了された方＞

事前に①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集、③コンgresバッグ引換券をお送りしております。参加証を必ずご着用の上、ご来場ください。ネームカードホルダーは受付付近の記名台にご用意しております。参加証のない方の入場は、固くお断りいたします。コンgresバッグは当日お渡ししますので、パシフィコ横浜会議センター2階の「コンgresバッグ配布コーナー」にお立ち寄りください。

＜8月10日以降に参加登録費のお支払いをされた方＞

①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集、③コンgresバッグ引換券は、当日会場の「事前参加登録受付」でお渡しします。

＜海外からの参加者の方＞

①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集、③コンgresバッグ引換券は、当日会場の「海外参加者受付」でお渡しします。

◆ 当日参加登録をされる方へ

当日参加登録をされる方は、パシフィコ横浜会議センター2階の「当日参加登録受付」にてご登録ください。記名台に用意しております「Registration Form」に必要事項をご記入の上、当日参加登録受付へお越しください。お支払いは全て現金にてお願いいたします。

●参加費と引き替えに①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集、③コンgresバッグ引換券をお渡しいたします。会場内では、必ず参加証をご着用ください。コンgresバッグは当日お渡ししますので、パシフィコ横浜会議センター2階の「コンgresバッグ配布コーナー」にお立ち寄りください。

●参加費は下記の通りです。

[会 員]		[非会員]	
・ 一 般	17,000円	・ 一 般	20,000円
・ 大学院生	2,000円	・ 大学院生	4,000円
・ 学部学生	無 料	・ 学部学生	無 料

注1) 大学院生および学部学生の方は受付にて学生証をご提示ください。

注2) 筆頭著者として発表を行わない学部学生の参加費は無料です。

◆ 受付時間

9月14日(水) 14:00～17:30

9月15日(木) 8:00～19:00

9月16日(金) 8:00～19:00

9月17日(土) 8:00～15:30

◆ 懇親会

本大会の懇親会は、先端で活躍されている研究者、およびこれからそれぞれの分野で活躍しようとする若手研究者(学部学生・大学院生・ポスドク含む)が集い、飲み物を片手に自由に交流できる会として開催します。プレナリー講演者やシンポジウムの演者の先生方にも参加を呼びかけますので、著名な研究者との会話のチャンスでもあります。Travel Award受賞者もお招きしています。世界各国の研究者との情報交換の場としてもご期待ください。また、飲食は簡単な軽食のみご用意しておりますので、予めご了承ください。

なお、事前登録の時点で定員に達した場合、当日参加受付はいたしません。事前に参加申込をお済ませください。

- 日 時：9月16日(金) 19:00～21:00
- 会 場：パシフィコ横浜会議センター 3階 E～H会場(301～304)
- 参加費(当日料金)：一般/大学院生/学部学生 1,500円

2. 英文抄録

演題登録された方(一部を除く)の英文抄録はNeuroscience Research (Elsevier)のSupplement(オンライン版)に掲載されます。印刷物としての配布はいたしません。

3. 専門医・認定医・研修認定薬剤師の研修単位について

本大会への参加は、下記学会の専門医・認定医及び研修認定薬剤師の研修単位取得の対象予定となります。専門医・認定医の先生方はぜひご利用ください。

- 日本神経学会
- 日本精神神経学会
- 日本小児神経学会
- 日本老年精神医学会
- 日本薬剤師研修センター

日本精神神経学会の「専門医資格更新にかかる研修ポイント」の取得は、「日本精神神経学会ポイント取得デスク」(パシフィコ横浜会議センター2階の総合案内)で対応しております。受付スタッフに「精神科専門医認定試験合格者証(ポイントカード)」を提示してください。それ以外の学会については、Neuroscience2011の参加証および領収書を各自で各学会に提出し、単位申請してください。詳細はそれぞれの学会にお問い合わせください。

4. ランチオンセミナーについて

お弁当数に限りがありますので、整理券を開催日の朝(参加受付開始時刻の午前8:00から先着順)にランチオンセミナーチケットデスク(パシフィコ横浜会議センター2階エントランス)にて配布いたします。配布は1人1日1枚となります。なお、参加証(ネームカード)のご提示が必要となります。また、展示ホールB(ポスター・展示会場)にフードコーナーを設けております。会場内へのお持ち込みも可能です。是非ご利用ください。

5. 呼び出し、伝言

会場内でのスライドおよび館内放送での呼び出しは行いません。受付付近のインフォメーションボードをご利用ください。

6. クローク

パシフィコ横浜会議センター1階にクロークを設けますので、ご利用ください。

なお、貴重品・傘などはお預かりできませんのでご了承ください。

- 9月14日(水) 14:00～18:00
- 9月15日(木) 8:00～19:30
- 9月16日(金) 8:00～21:00
- 9月17日(土) 8:00～18:30

7. 企業展示・アカデミア展示・書籍販売

展示ホールBにおいて企業展示、アカデミア展示および書籍販売を行います。

9月15日(木) 9:00～18:00

9月16日(金) 9:00～18:00

9月17日(土) 9:00～15:00

8. インターネットについて

下記エリアにて無線LANがご利用いただけます。SSIDとPASSWORDは以下のとおりです。

- ・会議センター(ただし、会議室内を除く)

SSID: FREE-PACIFICO 1～5 (※最後の数字は階に相当します)

PASSWORD: PACIF (※大文字になります)

- ・展示ホールB内 インターネットコーナー、休憩スペース

SSID: Neuroscience2011

WEP: neuro

- ・展示ホールB前 コンコース

SSID: FREE-PACIFICO 9

PASSWORD: PACIF (※大文字になります)

9. ドリンクコーナーについて

会期中(9月15日～17日)展示ホールBにてドリンクコーナーを設けます。数に限りがありますのであらかじめご了承ください。

10. フードコーナー

会期中(9月15日～17日)展示ホールBにて下記を特別販売いたします。是非ご利用ください。

- ・エスプレッソ・コーヒードリンク(TULLY'S COFFEE)
- ・仙台名物ずんだアイスクリーム
- ・各種スープ(Soup Stock Tokyo)

11. お子様連れの参加者の方へ

本大会では「託児室」を設置いたします。「託児室」には保育スタッフが常駐し、保護者の方が大会に参加される間、お子様をお預かりいたします。利用には事前予約が必要です。

託児室は、全国ベビーシッター協会正会員のアートチャイルドケア株式会社に委託しております。マットや玩具などを備え、専門の保育スタッフがケアにあたります。

- ・対象: 生後3ヶ月～小学6年生まで
- ・開室時間: 9月14日(水) 14:30～18:30
9月15日(木) 8:00～19:30
9月16日(金) 8:00～21:00
9月17日(土) 8:00～18:30

※ご予約のない場合、お預かりできない場合がございますのでご注意ください。

- ・開設場所: セキュリティのため、ご利用の方のみお知らせします。

- ・料金

①通常料金: 一人1日あたり3,000円

※ 兄弟での利用は2人目以降半額(2人なら4,500円、3人なら6,000円)

②スポット料金：1時間あたり600円(合計4時間まで)

※ 4時間以上のご利用は1日料金とさせていただきます。

注1) 2010年より新たに1日利用枠と兄弟割引を設置し、長時間利用時の負担を抑えました。そのため、スポット利用時の1時間あたりの利用料金は、例年よりも割高になっていますが、ご理解の上、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

注2) 事前予約をされた時間帯には、シッターの配置をしており、人件費が発生します。1日利用、スポット利用ともに、実際の利用時間ではなく、予約分の全額をお支払いいただきますようお願いいたします。なお、やむを得ない事情でお迎えが遅れる等、延長して利用した場合には、その分の利用料金を予約時間分に追加してお支払いください。

注3) 託児室運営費用の大部分は、他の参加者の皆様の理解と協力を得て、大会予算によってまかなわれています。託児室利用者の皆様にはご不便をおかけする点も多いかと存じますが、限りある予算内で運営している状況をご推察いただき、何卒ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

・受付締切：2011年8月31日(水)

・支払方法：当日払い(利用最終日にパシフィコ横浜会議センター2階総合案内にて現金でお支払いください)

・利用申し込み方法：

本大会ホームページ(<http://www.neuroscience2011.jp/index.html>)「託児室」のページの内容をご覧の上、「同意書」「申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、アートチャイルドケア株式会社までFAXにてお送りください。受領後、アートチャイルドケア株式会社より、お電話にてご連絡いたします。詳しくは本大会ホームページをご覧ください。

※ ご予約内容の変更は、アートチャイルドケア株式会社までご連絡ください。

※ 保育に関しては万全の体制を整えておりますが、万が一、保育者の責任に帰すべき事故が発生した場合には、アートチャイルドケア株式会社と保育者の2者によりこれを協議し、保健の範囲において対応いたします。

・昼食について：

託児室での調理は一切行いません。

原則として、お持ち込みいただいたお弁当・おやつ・飲み物(ビスケット・粉ミルクなど)はお預かりし、介助をいたしますが、冷蔵庫はございませんので、常温保存が可能なものをご持参ください。これにより万が一、食中毒や体調不良が生じた場合については一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

12. 禁止事項

- ・会場内での撮影、録画、録音は禁止となっております。
- ・施設内は禁煙です。所定の喫煙所をご利用ください。
- ・Twitter等への発表内容の書き込みはお控えください。

13. 総会・各種委員会

◆ 総会

日 時：9月15日(木) 13:00～14:00 会場：I会場

総会議事に引き続き、各賞授賞式を行います。

1. 時實利彦記念賞授賞式(受賞者は50ページをご覧ください)
2. 日本神経科学学会奨励賞授賞式(受賞者は51ページをご覧ください)

◆ 各種委員会

9月14日(水)

会合名	開催時間	会 場
理事会	10:00～14:00	414+415会議室

9月15日(木)

会合名	開催時間	会 場
時實賞昼食会	11:45～12:45	412会議室
第36回日本神経科学大会(Neuro2013)実行委員会	12:00～13:00	411会議室
将来計画委員会	12:00～13:00	421会議室
実験動物使用者会議	12:00～13:00	H会場(304)

9月16日(金)

会合名	開催時間	会 場
NSR編集委員会	11:00～14:00	411会議室
成茂基金昼食会	11:30～12:30	414会議室
第35回日本神経科学大会(Neuroscience 2012)実行委員会	12:00～13:00	412会議室
動物実験委員会	12:00～13:00	421会議室
男女共同参画推進委員会	12:00～13:00	422会議室
研究体制小委員会	12:00～13:00	423会議室
科学コミュニケーション委員会	12:30～13:30	514会議室

9月17日(土)

会合名	開催時間	会 場
NPO法人脳の世紀推進会議	12:00～13:00	411会議室
広報委員会(H P委員会、ニュース委員会合同)	12:00～13:00	412会議室
臨床連携WG	12:00～13:00	416会議室
第35回日本神経科学大会(Neuroscience 2012)プログラム委員会	12:00～13:00	414+415会議室
大会小委員会	13:00～14:00	417会議室
NSR検討委員会	15:00～17:00	411会議室

14. プレスルーム

開設日時：9月15日(木)～17(土) 場所：展示ホールB 1F B14

◆ プレスルームの趣旨および取材条件

日本神経科学大会の社会への広報活動として、報道機関に対する積極的な情報発信を行います。そのために、大会の認める範囲で、来場した記者の会場内での円滑な取材活動と、さらに興味のある発表者を呼んでのインタビュー等の充実した取材活動を支援すべく、会場に取材用のプレスルームを確保します。

取材のために来場した報道関係者は、総合案内にて記者証(フリーランスライターは身分証明書と過去に媒体掲載の記事数点のコピー)を提示確認・名刺御提出のうえで、プレス登録をして頂きます。会場内では、大会事務局で交付したプレスカードまたは腕章を装着して取材活動を行って頂きます。報道関係者には、対象となる研究発表者をプレスルームに招いて取材して頂きます。プレスルーム内では、発表者の了解のうえで撮影・録音・インタビューをお願いします。口演会場およびポスター会場での、撮影・録音・インタビューは原則として認めません。また、取材情報の整理・起稿入稿などの作業を行う場としてプレスルームを提供します。

15. 抄録検索・スケジュール作成システムについて

◆ オンラインシステム(ミーティングプランナー)

インターネットを介して全ての演題の発表者、所属、発表時間・会場、抄録などについて項目別に検索し、自分のスケジュールを作成することができる抄録検索システム(ミーティングプランナー)をご利用ください。任意のユーザー名とパスワードにより各自のスケジュールを保存できます。パソコン、携帯電話でご利用できます。詳しい使用方法については大会ホームページをご参照ください。

■ ミーティングプランナーウェブサイト

<http://www.neuroscience2011.jp>

16. 一般公開企画

1) 第34回日本神経科学大会 市民公開講座

一般の方を対象とした公開講座を、大会の実行委員会が置かれている仙台にて開催いたします。多彩な演者をお迎えし、脳科学の最前線をお伝えします。近隣にお住まいの方は是非、ご家族ご友人お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時：9月10日(土) 13:30～16:45

会場：仙台国際センター 3階「白樫」

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL:022-265-2211(代表)

参加費：無料、事前申込は必要ありません。どなたでもご参加いただけます。

定員：250名

主催：第34回日本神経科学大会

共催：東北大学脳科学グローバルCOE、東北大学包括的脳科学研究・教育推進センター

後援：宮城県教育委員会

対象：高校生・一般

登壇者：長谷川 真理子(総合研究大学院大学 教授)

池谷 裕二(東京大学大学院薬学系研究科 准教授)

谷内 一彦(東北大学大学院医学系研究科 教授)

虫明 元(東北大学大学院医学系研究科 教授)

挨拶：大隅 典子(東北大学大学院医学系研究科 教授)

2) 大会期間中高校生向け企画：“目指せ、神経科学者！”

大会開催地（横浜）周辺の脳神経科学に興味のある高校生を大会に招いて、展示やセッションの一部などをガイドつきでご案内します。会場内で遭遇した場合には、温かいご対応をお願いいたします。

日 時：9月14日（水）15：00～16：00 SL1：山中伸弥先生の大会特別講演拝聴と、御面談等

9月17日（土）大会展示の見学、PL4：Karel Svoboda先生の大会プレナリーレクチャー拝聴と御面談等

会 場：パシフィコ横浜

主 催：第34回日本神経科学大会

協 力：脳科学若手の会

3) 「みること、えがくこと—脳科学とアートとの対話」

脳神経科学者と現代美術家との対話を通じて、脳神経科学のアートなど異分野との接点を探り、広く社会と共に脳神経科学研究の成果と進捗を共有する機会を作ります。

日 時：9月18日（日）14：00～15：50

会 場：横浜美術館レクチャーホール

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1 TEL：045-221-0300

入場料：無料

定 員：先着200名、事前申込制

申込方法：9月10日（土）までに氏名、性別、ご職業、ご連絡先を明記の上、主催メールアドレス（art@sendaibrain.org）までお申込みください。

主 催：第34回日本神経科学大会、東北大学脳科学グローバルCOE

共 催：横浜トリエンナーレ組織委員会、横浜美術館

登壇者：藤田 一郎（大阪大学大学院生命機能研究科認知脳科学研究室 教授）

横尾 忠則（美術家）

※詳細は大会ホームページをご覧ください。 <http://www.neuroscience2011.jp/japanese/satellite.html>

17. サテライトシンポジウム

1) 若手研究者国際交流会

将来日本の神経科学の世界で活躍することが期待される若手研究者の国際交流を目的として学会期間中に本会を開催します。Travel Awardで来日した海外からの若手研究者と脳科学若手の会で選考された国内研究者を参加者として、自己紹介を交えたポスターセッションと昼食を取りながら、研究者間の交流を深めていただきます。

日 時：9月14日（水）12：00～14：30

場 所：パシフィコ横浜会議センター 3階「315」

参加人数：100名（予定）

参加費：無料

2) 脳科学研究者と企業のマッチングシンポジウム

脳科学研究は近年その応用範囲を急速に広げつつあり、ビジネスの様々な場面で活用される機会も増えてきました。このような産学連携の現場では、シーズを持つ研究者とシーズを事業に活用したい企業のマッチングが非常に重要となります。

本シンポジウムでは、この研究者と企業とのマッチングの活性化を目的としています。

シンポジウムの前半では、次世代を担う脳科学研究者に自らの研究や事業応用のアイデアをご紹介していただくことで、一般企業の研究者・企画担当者とのマッチングの活性化に繋がります。加えて、アカデミックの若手研究者の方に対しては、今後産学連携を企業に提案する際の方法や自らのキャリアの参考にしていただくことも狙いとしています。

シンポジウム後半のパネルディスカッションでは、実際に脳科学を活用している企業担当者を交えて「企業としては今後脳科学をどのようにビジネスに生かしていきたいのか」、「脳科学者と今後どのように連携していきたいか」、「研究者としてはどういったことを企業に期待しているのか」といった内容を議論し、企業と研究者のマッチング活性化への課題とその対策を明らかにしていきます。

多くの研究者や企業の方の御来場をお待ちしております。

日 時：9月15日(木) 17:00～18:45

会 場：B会場(パシフィコ横浜会議センター 5階501)

主 催：応用脳科学コンソーシアム(株式会社NTTデータ経営研究所)

※ 大会参加登録をせずに、本シンポジウムのみの参加をご希望の方は、事前申し込み(無料)が必要です。大会参加登録済みの方の本シンポジウム参加は自由(無料)です。詳細内容及び事前申し込みについては、以下のWebサイトからご確認をお願い致します。

応用脳科学コンソーシアム Neuroscience2011 企画 Webサイト:

<http://www.keieiken.co.jp/can/consortium/network.html#neuroscience2011>

お問合せ先：応用脳科学コンソーシアム事務局

株式会社NTTデータ経営研究所 担当：福田

E-mail: can-neuroscience@keieiken.co.jp TEL: 03-5467-6321

3) 第4回国際小脳学会：「Cerebellar Function and Dysfunction」

Springerの専門誌“The Cerebellum”のEditorial Board Memberが発起人となり開始した研究会で、今まで、ジュネーブ、ワシントンDC、アムステルダムで行われました。基礎から臨床まで幅広い小脳研究者が集まり、最先端の研究成果を紹介するとともに研究者間の交流の機会を提供しています。小脳研究について、体系的に学ぶことができる唯一の機会です。また、懇親会にもぜひご出席いただき世界の研究者との交流の機会をお持ちください。

日 時：9月18日(日) 9:00～

会 場：東京大学山上会館

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

主 催：Society for Research on the Cerebellum (SRC)

参加料：大会HP http://www.jw-trvl.co.jp/src/index_e.php から登録してください。

	Pre-Registration	Onsite Registration	Reception
SRC Member	JPY 10,000	JPY 11,000	JPY 5,000
Non-member	JPY 12,000	JPY 13,000	JPY 5,000
Student Member	JPY 5,000	JPY 5,500	JPY 3,000
Student Non-member	JPY 8,000	JPY 8,500	JPY 3,000

シンポジスト：Masao Ito Ferdinando Rossi Mikio Hoshino
 David Vaudry Kazuyoshi Tsutsui Masanobu Kano
 Tomoo Hirano Timothy Ebner Michisuke Yuzaki
 Hideyuki Okano Jean Mariani Mario Manto
 Thomas Knopfel Izumi Sugihara Shinji Kakei
 Jan Voogd Yoshikazu Ugawa Im Joo Rhyu
 Hirokazu Hirai Ichiro Miyai Shoji Tsuji

お問合せ先：第4回国際小脳学会大会事務局
 事務局長 鯉淵典之
 群馬大学大学院医学系研究科応用生理学分野
 Email: nkoibuch@med.gunma-u.ac.jp TEL: 027-220-7923

18. 昼食について

本大会では9月15日(木)～17日(土)の3日間、ランチョンセミナーが開催されますが、お弁当の数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

- ・ランチョンセミナー：9月15日(木)・16日(金)・17日(土) 12:00～13:00
- ・フードコーナー(有料)：9月15日(木)・16日(金)・17日(土) 展示ホールB
 - ① エスプレッソ・コーヒードリンク (TULLY'S COFFEE)
 - ② 仙台名物ずんだアイスクリーム
 - ③ 各種スープ (Soup Stock Tokyo)
- ・会場内レストラン
 - レストランテ アッティモ (展示ホール2階海側)
 - DANZERO (展示ホール2階海側)
 - 海鮮びすとろピア21 (ぶかりさん橋2階) 他
- ・会場周辺：パシフィコ横浜HPをご覧ください。(http://www.pacifico.co.jp/index.html)

特別企画のご案内

本大会では、通常のプログラムの他に、本大会の特色の一つである「国際化」を反映した、様々な海外の学会、機関と連携した特別プログラム(シンポジウム)や神経倫理に関するシンポジウムを企画しております。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 学会企画シンポジウム

1) 神経倫理に関するシンポジウム (S2-D-1) *使用言語: 英語

日 時: 9月15日(木) 8:30 ~ 11:00

場 所: D会場

テーマ: ヒト脳研究における脳神経倫理の進展

※詳細については、71ページをご参照ください。

2) 日本・中国神経科学学会合同シンポジウム (S2-F-1) *使用言語: 英語

日 時: 9月15日(木) 8:30 ~ 11:00

場 所: F会場

テーマ: アジア地域の神経科学の最前線

※詳細については、74ページをご参照ください。

3) 将来計画委員会企画 基礎-臨床統合シンポジウム (S2-F-2) *使用言語: 英語

日 時: 9月15日(木) 17:00 ~ 19:00

場 所: F会場

テーマ: 自閉症スペクトラム障害の神経科学

※詳細については、74ページをご参照ください。

4) 男女共同参画推進委員会企画 (S2-J-1) *使用言語: 英語

日 時: 9月15日(木) 8:30 ~ 11:00

場 所: J会場

テーマ: 神経科学の新しい潮流

※詳細については、80ページをご参照ください。

5) NSR-エルゼビア協賛シンポジウム (S3-B-1) *使用言語: 英語

日 時: 9月16日(金) 8:30 ~ 11:00

場 所: B会場

テーマ: 光生物学から神経科学へのメッセージ-光情報伝達タンパク質のオプトジェネティクス

※詳細については、83ページをご参照ください。

6) 第二回日豪ジョイントシンポジウム (S3-B-2) *使用言語: 英語

日 時: 9月16日(金) 14:00 ~ 16:00

場 所: B会場

テーマ: 発生と疾患

※詳細については、84ページをご参照ください。

7) 日米欧豪ジョイントシンポジウム (S3-G-1) *使用言語：英語

日 時：9月16日(金) 8:30～10:40

場 所：G会場

テーマ：神経科学における高等教育

※詳細については、87ページをご参照ください。

8) 日加ジョイントシンポジウム (S4-D-1) *使用言語：英語

日 時：9月17日(土) 8:30～11:00

場 所：D会場

テーマ：神経幹細胞の起源、分化、調節機構

※詳細については、93ページをご参照ください。

2. 男女共同参画企画：ランチタイムミニシンポジウム (MS2-J) (なでしこプログラム協賛)

日 時：9月15日(木) 12:00～13:00

*使用言語：英語

場 所：J会場

テーマ：女性PIを育てるために

※詳細については、82ページをご参照ください。

3. 特別企画 震災プログラム：ランチタイムミニシンポジウム (MS3-B) *使用言語：英語

日 時：9月16日(金) 12:00～13:00

場 所：B会場

テーマ：東日本大震災を超えて：日本神経学会から世界の仲間へのメッセージ

※詳細については、90ページをご参照ください。

4. 若手キャリアパス企画：ランチタイムミニシンポジウム (MS3-C) (わかばプログラム協賛)

日 時：9月16日(金) 12:00～13:00

場 所：C会場

テーマ：博士号のその先に ー社会は研究者に何を求めるー

※詳細については、91ページをご参照ください。

5. 患者団体連携企画：ランチタイムミニシンポジウム (MS3-H)

日 時：9月16日(金) 12:00～13:00

場 所：H会場

テーマ：“神経科学研究”が“治療薬”になるまでーHGFの20年を例に

※詳細については、91ページをご参照ください。

6. 日米脳ランチタイム ミニシンポジウム (MS4-E) *使用言語：英語

日 時：9月17日(土) 12:00～13:00

場 所：E会場

テーマ：日米脳：日米科学技術協力事業「脳研究」分野の紹介

※詳細については、98ページをご参照ください。

各賞受賞者 List of the Awardees

塚原伸晃記念賞 Tsukahara Award

■ 尾藤 晴彦 (Haruhiko Bito)

東京大学大学院医学系研究科 神経生化学教室

Department of Neurochemistry, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

9月15日(木) September 15 (Thu) 15:20 ~ 16:00 A会場 (Room A)

AL2-1 : 活動依存的な遺伝子発現誘導・突起伸展機構

Activity-dependent mechanisms underlying neuronal gene expression and neurite growth

時實利彦記念賞 Tokizane Award

■ 狩野 方伸 (Masanobu Kano)

東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻 生理学講座 神経生理学分野

Department of Neurophysiology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

9月15日(木) September 15 (Thu) 16:10 ~ 16:50 A会場 (Room A)

AL2-2 : 内因性カンナビノイドによるシナプス伝達修飾と統合脳機能

Endocannabinoid-mediated modulation of synaptic transmission and its impact on integrative brain functions

各賞受賞者 List of the Awardees

日本神経科学学会奨励賞 JNS Young Investigator Award

■ 疋田 貴俊 (Takatoshi Hikida)

財団法人大阪バイオサイエンス研究所 システムズ生物学部門/科学技術振興機構さきがけ

Department of Systems Biology, Osaka Bioscience Institute / PRESTO, JST

Title : 大脳基底核神経回路の制御機構

Regulatory mechanism of basal ganglia circuit

■ 檜山 武史 (Takeshi Hiyama)

自然科学研究機構 基礎生物学研究所

National Institutes of Natural Sciences, National Institute for Basic Biology

Title : 体液Na⁺濃度センサーに関する研究

Studies of the sensor for Na⁺-level monitoring in body-fluids

■ 出馬 圭世 (Keise Izuma)

カリフォルニア工科大学

California Institute of Technology

Title : 意思決定に及ぼす社会的・認知的影響の神経基盤の解明

The neural basis of social/cognitive influences on decision-making

■ 戸島 拓郎 (Takuro Tojima)

理化学研究所脳科学総合研究センター 神経成長機構研究チーム

Laboratory for Neuronal Growth Mechanisms, RIKEN Brain Science Institute

Title : 神経軸索ガイダンスを制御するシグナル伝達と膜トラフィック

Signal transduction and membrane trafficking underlying neuronal growth cone guidance

■ 山下 貴之 (Takayuki Yamashita)

スイス連邦工科大学ローザンヌ校・脳精神研究施設

École Polytechnique Fédérale de Lausanne, Brain Mind Institute

Title : シナプス伝達効率の前シナプス性調節機構

Presynaptic control of synaptic transmission

Candidates of the Travel Awardees

■ Massoumeh Koroush Arami (Islamic Republic of Iran)

Department of Physiology, Medical College, Hamedan University of Medical Sciences, Hamedan, Iran

P2-a20 : Homosynaptic LTP and heterosynaptic LTD in layer VI of the mouse visual cortex induced by white matter or layer II/III stimulation

■ Bin Cai (People's Republic of China)

Department of Neurology, First Affiliated Hospital of Fujian Medical University, China

O4-J-1-3 : TAT-mediated delivery of neuroglobin protects against focal cerebral ischemia in mice

■ Yusuf O. Cakmak (Republic of Turkey)

Acupuncture program for physicians, School of Medicine, University of Yeditepe, Istanbul, Turkey

O4-F-2-4 : Structural cortical plasticity induced by the mindfulness meditation of the Sufi Whirling Derwishes

■ Eunhyuk Chang (United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland)

Dept. Physiology, Anatomy and Genetics, University of Oxford, Oxford, UK

P4-d16 : Characterization of neural stem/progenitor cell properties in the subventricular zone

■ Ying Chen (People's Republic of China)

Institutes of Brain Science, Fudan University, China

O3-B-2-4 : Real-time imaging of proteasome-mediated SPAR degradation in CA1 neurons and its involvement in hippocampal LTP

■ Yianne M. Clovis (Italian Republic)

Neuroscience and Brain Technologies Dept., Italian Institute of Technology, Genova, Italy

O2-B-1-4 : MicroRNA-9 controls the migration of cortical neurons in developing mouse neocortex

■ Yanjie Fan (United States of America)

Department of Cell Biology, Emory University, Atlanta, USA

O2-I-1-3 : Actin capping protein in dendritic spine development and synapse formation

■ Elham Ghanbarian (Islamic Republic of Iran)

School of Cognitive Sciences(SCS), Institute for Research in Fundamental Sciences (IPM), Tehran, Iran

P4-n08 : Inactivation of ventral tegmental area influences long term potentiation in the rat hippocampus

■ Yifan Gong (People's Republic of China)

Institute of Life Science, Southeast University, Nanjing, P.R.China

P2-d21 : FoxG1 is critical for postnatal hippocampal development

■ **Ze-lan Hu (People's Republic of China)**

Dept. Anatomy and Neurobiology, Tongji University School of Medicine, Shanghai, China

O4-F-1-4 : The role of the transcription factor Rbpj in the development of dorsal root ganglia and Trigeminal ganglia

■ **Ying Huang (People's Republic of China)**

Department of Anatomy and Neurobiology, Tongji University School of Medicine, Shanghai, China

P2-f20 : Balanced bilateral sensory input is essential for target selection of callosal axons

■ **Harpreet Kaur (Republic of India)**

Department of Biochemistry, Panjab University, Chandigarh, India

P3-s06 : Differential antioxidant response of cortex and hippocampus in experimental model of chronic epilepsy: Protection by Curcumin

■ **Jeongjin Kim (Republic of Korea)**

Department of Biological Sciences, Korea Advanced Institute Science and Technology(KAIST), Korea

P3-s07 : Thalamic T-type calcium channels mediate frontal lobe dysfunctions caused by a hypoxia-like damage in the prefrontal cortex

■ **Narisorn Kitiyanant (Kingdom of Thailand)**

Research Center for Neuroscience, Institute of Molecular Biosciences, Mahidol University, Nakhon Pathom, Thailand

P3-d13 : Neurotrophic factor-releasing human neural stem/progenitor cells rescue cultured rat septal neurons from amyloid β -induced neurotoxicity

■ **Alireza Komaki (Islamic Republic of Iran)**

Department of Physiology, School of Medicine, Hamadan University of Medical Sciences, Hamadan, Iran

P3-o15 : Interaction between cannabinoid receptors and calcium channel blockers on learning and memory in male rat

■ **Qian Li (Hong Kong)**

School of Biomedical Sciences, the Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, P.R.China

P2-r15 : Alleviation of parkinsonian motor symptoms by deep brain stimulation: involvement of the antidromic response through the "hyperdirec" pathway

■ **Ting Li (People's Republic of China)**

Shanghai Mental Health Center, Shanghai, China

P4-s03 : Novelty seeking involved in mediating the association between COMT gene and onset age of drug use in Chinese heroin-dependent patients

■ **Santosh Mishra (United States of America)**

National Institute of Dental and Craniofacial Research, National Institutes of Health, USA

O3-I-2-1 : TRPV1 lineage neurons and their functional role in thermal nociception

■ **Maryam Moosavi (Islamic Republic of Iran)**

Physiology Department, Shiraz University of Medical Sciences, Iran

P4-n07 : Agmatine prevents scopolamine-induced Akt inactivation in the hippocampus

■ **Maryam Noorbakhshnia (Islamic Republic of Iran)**

Dept. of Biol., Facult. of Science, Univ. of Isfahan, Isfahan, Iran

P3-c05 : Morphine addiction augments Dentate Gyrus basal population spikes in freely moving rats

■ **Vivian Y. Poon (Republic of Singapore)**

Duke-NUS Graduate Medical School, Singapore

O3-F-1-2 : The role of microRNAs in mammalian axon regeneration and presynapse formation

■ **Suhail Rasool (United States of America)**

Department of Molecular Biology and Biochemistry, University of California, Irvine, USA

O3-J-4-1 : Vaccination with a non-human sequence amyloid oligomer mimic results in improved cognitive function and reduced plaque deposition in Tg2576 mice

■ **Tania A. Seabrook (United States of America)**

Department of Anatomy and Neurobiology, Virginia Commonwealth University Medical Center, Richmond, USA

P4-h15 : Timing of corticogeniculate innervation in the dorsal lateral geniculate nucleus (dLGN) of the mouse relies on retinogeniculate axon innervation

■ **Kavita Seth (Republic of India)**

Dev. Tox. Div., Indian Institute of Toxicology Researc., Lucknoww, India

P4-e02 : Olfactory Ensheathing Glia Defends Neural Stem Cells from Salsolinol through Activation of PI3K/Akt/ERK/CREB Signaling

■ **Mohammad Shabani (Islamic Republic of Iran)**

Neuroscience Research Center and Department of Physiology, Faculty of Medicine, Kerman University (Medical Campus), Kerman, Iran

P4-a18 : Plastic changes in the burst firing behavior of Purkinje neurons in offspring that maternally exposed to the CB1 cannabinoid agonist WIN 55212-2

■ **Siamak Shahidi (Islamic Republic of Iran)**

Physiology, Hamadan University of Medical Sciences, Hamadan, Iran

P4-n09 : Electrophysiological and behavioral study the effects of fluoxetine on the memory processing

■ **Varsha Shukla (United States of America)**

Laboratoy of Neurochemistry, NINDS, National Institutes of Health, Bethesda, Maryland, USA

P2-q11 : Hyperphosphorylation of tau by deregulated Cdk5 (Cdk5/p25) activity is inhibited by its truncated activator (p35)

■ **Spyridon Theofilopoulos (Kingdom of Sweden)**

Karolinska Institute, Molecular Neurobiology Division, Department of Medical Biochemistry and Biophysics, Stockholm, Sweden

O2-D-1-1 : Identification and characterisation of endogenous LXR ligands in ventral midbrain development

■ **Gong-Wu Wang (People's Republic of China)**

School of Life Science, Yunnan Normal University, Kunming, China

P4-n06 : The Impairment Effect of Disconnection of the Circuit between the Hippocampus and the Basolateral Nucleus of Amygdala in Passive Avoidance Memory in Rats

■ **Xiaohui Wang (People's Republic of China)**

Dept. Physiol. of Shanxi Medical University, Taiyuan, China

P4-n20 : Neuroprotective Effect of Val⁸-GLP-1(7-36) Against A β 1-40-Induced Neurotoxicity and Its Possible Mechanism

■ **Zhi-qiang Wang (People's Republic of China)**

Department of Neurology and Institute of Neurology, First Affiliated Hospital, Fujian Medical University, China

P2-s09 : Molecular analysis of 51 unrelated pedigrees with late-onset multiple acyl-CoA dehydrogenation deficiency (MADD) in the southern China confirmed the most common ETFDH mutation and high carrier frequency of c.250G>A

■ **Yi Wu (People's Republic of China)**

Institutes of Brain Science, Univ. of Fudan, Shanghai, China

P2-b21 : Endocannabinoid signaling modulates synaptic transmission in the rat inner retina

■ **Rajesh S. Yadav (Republic of India)**

Development Toxicology Division, Indian Institute of Toxicology Research, Lucknow, India

P4-b12 : Modulating effect of Bacopa monniera against monocrotophos induced cholinergic and dopaminergic dysfunctions in rats

■ **Tao Yang (People's Republic of China)**

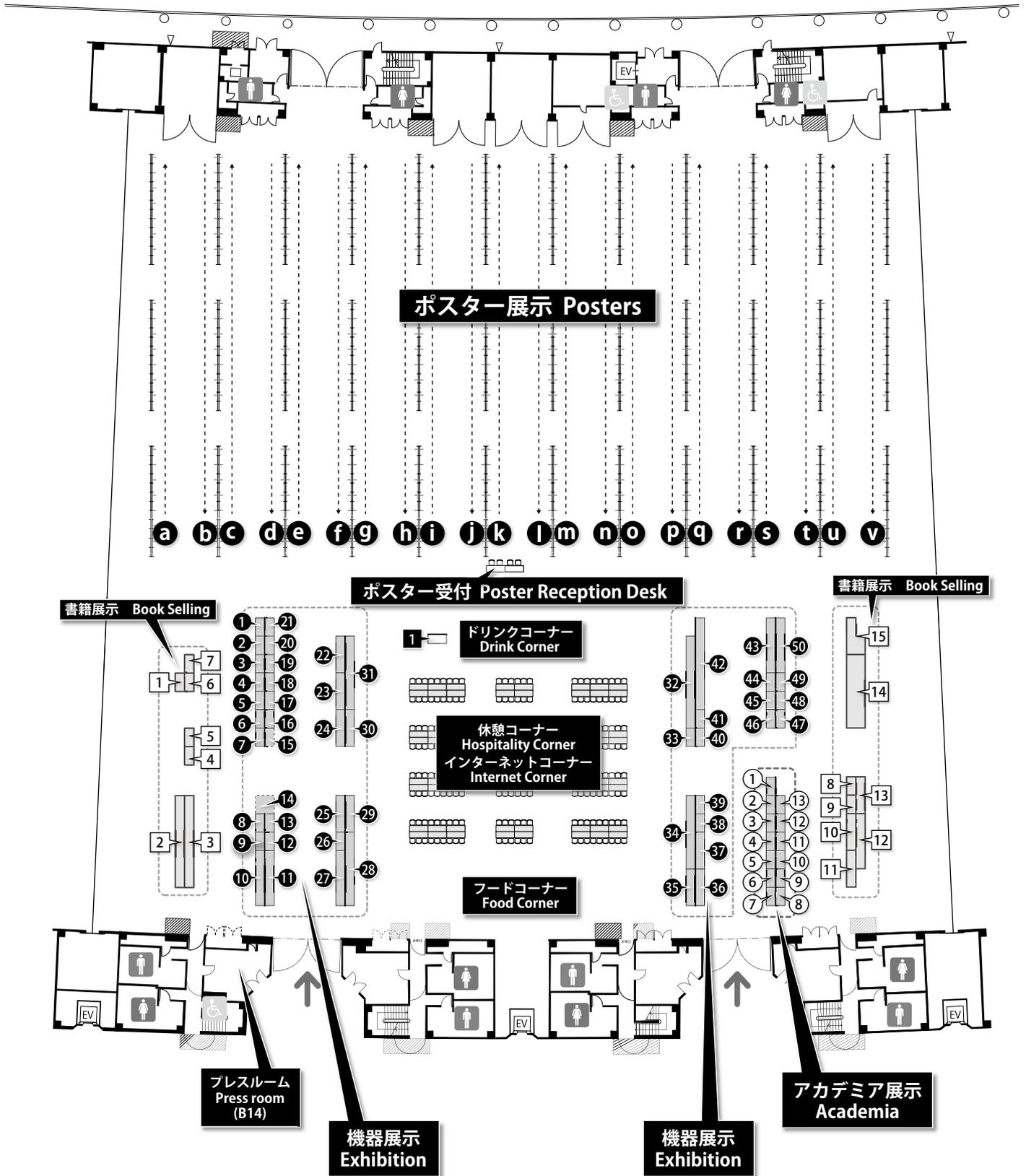
Institute of Genetics and Developmental Biology, Chinese Academy of Sciences, Beijing, China

P3-e06 : Scaffold Protein POSH is Required for F-actin Assembly to Control Radial Migration of Cortical Neurons in the Neocortex

*Listed alphabetically

ポスター・展示会場図 Floor Plan of Posters & Exhibitions

展示ホールB Exhibition Hall B



出展企業・団体リスト

機器展示 * P56 ①~⑤⑩

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ① (株)日立メディコ | ②⑥ ナモト貿易(株) |
| ② (株)クレアクト・インターナショナル | ②⑦ (株)インターメディカル |
| ③ (株)ベルテック・ジャパン | ②⑧ カールツァイスマイクロイメージング(株) |
| ④ (株)ATR-Promotions | ②⑨ トミーデジタルバイオロジー(株) |
| ⑤ ライフテクノロジーズジャパン(株) | ③⑩ ミルテニーバイオテック(株) |
| ⑥ (株)アド・サイエンス | ③① オリパス(株) |
| ⑦ (株)S (エス) | ③② (株)成茂科学器械研究所 |
| ⑧ CST ジャパン(株) | ③③ マイクロブライトフィールドジャパン(株) |
| ⑨ (株)バイオ光学研究所 | ③④ ショーシン EM(株) |
| ⑩ 小原医科産業(株) | ③⑤ プライムテック(株) |
| ⑪ ライカマイクロシステムズ(株) | ③⑥ (株)シナノ製作所 |
| ⑫ エーエムアール(株) | ③⑦ (株)ユニークメディカル |
| ⑬ (株)デジタルマイクロシステムズ | ③⑧ (株)ニコンインステック |
| ⑭ (株)ルシール | ③⑨ (株)エイコム |
| ⑮ (株)モンテシステム | ④⑩ 横河電機(株) |
| ⑯ アブカム(株) | ④① TSE Systems GmbH |
| ⑰ (株)日立製作所 | ④② (株)フィジオテック |
| ⑱ 堂阪イーエム(株) | ④③ 室町機械(株) |
| ⑲ アドバンストシステムズ(株) | ④④ 日本チャールス・リバー(株) |
| ⑳ 浜松ホトニクス(株) | ④⑤ 三栄バイタルズ(株) |
| ㉑ 日本光電工業(株) | ④⑥ (株)島津製作所 |
| ㉒ (株)ニューロサイエンス | ④⑦ (株)東海ヒット |
| ㉓ ブレインビジョン(株) | ④⑧ (株)ブレインサイエンス・イデア |
| ㉔ 日本ミリポア(株) | ④⑨ (株)ソフィア・サイエンティフィック |
| ㉕ (株)ベックス | ⑤⑩ (株)ミユキ技研 |

アカデミア展示 * P56 ①~⑬

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ① ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」 | ⑧ 玉川大学脳科学研究所グローバルCOEプログラム |
| ② INCF 日本ノード (理研BSI) | ⑨ 慶應義塾大学 人文グローバルCOE |
| ③ (独) 理化学研究所 脳科学研究センター | ⑩ 大阪大学グローバルCOE |
| ④ 文部科学省 脳科学研究戦略推進プログラム | ⑪ 名古屋大学医学部 グローバルCOE |
| ⑤ (独) 国立女性教育会館 | ⑫ 群馬大学GCOE 神経科学グループ |
| ⑥ (独) 理化学研究所 バイオリソースセンター | ⑬ 東北大学脳科学グローバルCOE |
| ⑦ 沖縄科学技術研究基盤整備機構 | |

書籍展示・販売 * P56 ①~⑮

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ① サンワテクノ | ⑨ (株)ウォルターズ・クルワー・ヘルス・ジャパン |
| ② 丸善(株) | ⑩ シュプリンガー・ジャパン(株) |
| ③ (株)ガリバー | ⑪ (株)クバプロ |
| ④ (株)アルク教育社 | ⑫ (株)デジタルデータマネジメント |
| ⑤ 文部科学省・HFSP | ⑬ Wiley-Blackwell |
| ⑥ (株)リプロセル | ⑭ (株)紀伊國屋書店 横浜店 |
| ⑦ ジオジャパン(株) | ⑮ エルゼビア・ジャパン(株) |
| ⑧ (株)ニホン・ミック | |

音響展示 * 展示ホール (P56①) および会議センター内に出展予定

- | | |
|---------------|------------|
| ① (株)インターヴォイス | ③ (株)ラシュラン |
| ② エムエス・ラボ | |

※ 2011年8月4日現在

開催のご案内

第35回日本神経科学大会



会期 2012年(平成24年)9月18日(火)~21日(金)

会場 名古屋国際会議場

大会長 貝淵 弘三 (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

プログラム概要 (予定)

1 プレナリーレクチャー

- David Porteous (University of Edinburg)
- Joseph S. Takahashi (University of Texas)
- Arturo Alvarez-Buylla (The University of California, San Francisco)

2 特別講演

- 祖父江 元 (名古屋大学大学院医学系研究科神経内科)
- 高橋 智幸 (同志社大学生命医科学部神経生理学、OIST)
- 柿木 隆介 (自然科学研究機構生理学研究所統合生理研究系)
- 坂野 仁 (東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻)

3 シンポジウム

- 学会シンポジウム
- 大会プログラム委員会企画シンポジウム
- 公募シンポジウム

募集開始：2011年9月予定

4 受賞記念講演

- 塚原仲晃記念賞 受賞記念講演
- 時實利彦記念賞 受賞記念講演

5 一般口演・ポスター発表

募集開始 2012年2月予定

募集締切 2012年4月予定

6 共催セミナー

募集中

7 機器展示・書籍展示会

募集中

<http://www.neuroscience2012.jp> E-mail : staff@neuroscience2012.jp

学会事務局 日本神経科学学会

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目2-2 本郷ビル9F

TEL:03-3813-0272 FAX:03-3813-0296

大会事務局 株式会社コングレ 中部支社

〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング8F

TEL:052-950-3369 FAX:052-950-3370

The 35th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

Date **September 18-21, 2012**
 Venue **Nagoya Congress Center**
 Chairperson **Kozo Kaibuchi** (Professor, Nagoya University Graduate School of Medicine)

Program (tentative)

1 Plenary Lectures

- **David Porteous** (University of Edinburg)
- **Joseph S. Takahashi** (University of Texas)
- **Arturo Alvarez-Buylla** (The University of California, San Francisco)

2 Special Lectures

- **Gen Sobue** (Nagoya University Graduate School of Medicine)
- **Tomoyuki Takahashi** (Doshisha University Faculty of Life and Medical Sciences, OIST)
- **Ryusuke Kakigi** (National Institute for Physiological Sciences)
- **Hitoshi Sakano** (The University of Tokyo Graduate School of Science)

3 Symposia

- **Symposia planned by Japan Neuroscience Society**
- **Symposia planned by Program Committee** ● **Call for Symposia** opens September, 2011

4 Awarded Lectures

- **Nakaakira Tsukahara Memorial Award** ● **Toshihiko Tokizane Memorial Award**

5 Oral Presentations / Poster Sessions

Call for abstracts: from February to April, 2012 (tentative)

6 Sponsored Seminars

Application for Luncheon Seminar sponsorship : opens September, 2011

7 Exhibition for Equipments & Publications

Exhibitor booth sales : opens September, 2011

<http://www.neuroscience2012.jp> E-mail : staff@neuroscience2012.jp